

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	量子・物質工学特別輪講第二		
英文授業科目名	Advanced Seminar in Applied Physics and Chemistry 2		
開講年度	2005年度	開講年次	
開講学期	前学期・後学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>将来、専門分野の最前線において自立した研究者として研究を推進していくために、博士後期課程では各自の学問分野についての知識と洞察力、発表・討論の能力を一層高めなければならない。さらには現状の問題点を的確に指摘し研究テーマを設定する能力も重要である。本特別輪講では、それぞれの専門分野について各研究指導教員の指導を受けながら、学術論文の抄録や専門書の読み合わせ等を行う。研究を展開するためのヒントや動機付けを得るとともに、発表・討論能力を養い、各自の研究テーマおよびその周辺の学問領域についての理解を深め、広い学問的視野と洞察力を身に付けることを目標とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
特になし。指導教員が指示する場合もある。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>それぞれの所属研究室あるいは複数の研究室グループで、セミナー形式で以下のような研究活動や学習活動を行う。</p> <p>例)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究分野に関連する学術論文の抄録会。</li> <li>2) 専門分野の基礎を修得するための教科書や参考書の読み合せ。</li> </ol>

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

具体的な実施方法は各指導教員により指示される。

なお本科目は1年次から修了年次にわたって履修すべき必修科目である。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

発表等の内容、理解度、質問、討論を通じた当該学生の達成度を勘案して評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

指導教員が指示する。

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】